

4月から変わる学校運営

伯耆町教育委員会では、開かれた学校づくりのため、「学校支援ボランティア制度」を展開し、ボランティアの方のご支援により、学校の教育活動や環境整備の充実に取り組んでいます。

この4月からは、更なる充実に向けて、岸本小学校と八郷小学校を【コミュニティ・スクール】に指定し、地域の教育力を学校運営に生かした特色ある学校づくりを目指します。

コミュニティ・スクールとは

学校の運営にあなたの声を生かす新しい仕組みです。

コミュニティ・スクールには、保護者や地域住民などから構成される「学校運営協議会」が設けられ、学校運営協議会が学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などに意見を述べたりすることを通じて、地域の意見を学校運営に反映させます。

学校運営協議会とは

学校長が提示する学校運営の基本方針に意見を述べたり、修正を求めることができます。また、その基本方針を承認し、実際の教育活動に対する評価や支援などのチェック機能も備えています。

主に、学力や体力向上への取組、家庭との連携、教育活動への地域の物的・人的資源の活用などについて、年間6回程度話し合う予定です。

学校運営協議会の委員

コミュニティ・スクールの核となる学校運営協議会の委員は、次の人によって構成されます。

- ① 地域住民
- ② 学校教育・社会教育などに一定の見識を持つ人（学校教育・PTA役員など）
- ③ 指定学校の校長・教職員
- ④ 関係する機関の職員（保育所・中学校・公民館など）

①～④を合わせた15人以内を教育長が協議会委員に任命します。任期は2年です。

伯耆町コミュニティ・スクールの特色

伯耆町コミュニティ・スクールの特色は、学校支援地域本部との協働です。

学校支援地域本部では、延べ650人の登録者があり、ボランティアの皆さんが読み聞かせや教育活動補助、環境整備活動などで活躍されています。

地域の教育力を学校に活かす点で、学校運営協議会と方向性が一致することから、両制度が密接に連携し、教育の質の向上を目指します。

目指す学校像に向けて

子どもたちの健やかな成長のために、保護者・地域・学校の三者は大きな責務を負っています。その責務を果たすためには、「子どもたちにどんな人間に育って欲しいか」について、関係者が思いを共有することが大切です。コミュニティ・スクールで学校運営協議会を開き、学校の運営方針を始めとする教育活動について議論する意義は、この点にあります。

子どもの成長に関係者が共に喜び合う場として、よりよい教育を目指して語り合う場として、コミュニティ・スクールが機能することを目指します。今後伯耆町では、この取組を全ての小中学校に、順次拡大する予定です。



【問い合わせ先】教育委員会事務局 総務学事室 ☎62-0927

こちら 学校支援地域本部

～町民みんなで支える学校 みんなで育てる伯耆町の子ども～

平成22年度の学校支援地域本部事業のまとめとして、2月20日（日）伯耆町農村環境改善センターで「学校支援ボランティア活動報告会」を開催しました。各学校のボランティア活動、学校と地域の連携など特色のある取り組み報告や、意見交換会を行いました。

報告会に出席した人は、「学校により、特色ある活動がなされている。学校の様子をもっと知り、協力できたら」「地域でのボランティア活動が、確実に健全な子どもたちが育つ大事な役割を担っていることを痛感した」と、学校支援活動への興味を深められました。

学校支援ボランティア活動は、皆様の協力により支えられ、平成23年度以降も様々な

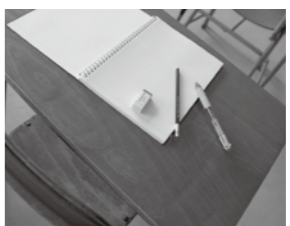
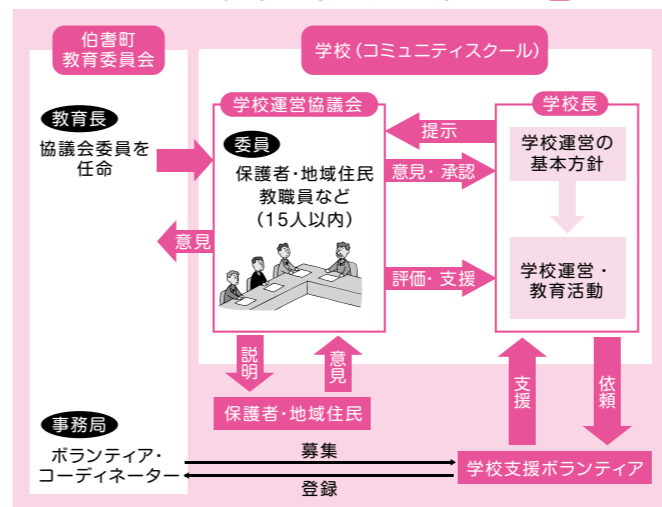
活動を続けていきます。あなたも“できるときに”“できることで”学校の【応援団】になってみませんか？関心のある方は、下記まで問い合わせください。



岸本小学校発表4年生社会科「きょう土につたわるねがい」の学習

【問い合わせ先】教育委員会事務局 総務学事室 ☎62-0927

コミュニティ・スクール イメージ図



岸本小学校・八郷小学校をコミュニティ・スクールへ